

『Mind Charging』

第 61 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 20 日

本田圭佑の名言



どこでプレーしても俺の成長はあるわけで。

サッカー選手や実業家としての活躍と注目度はもちろんですが、齒に衣着せぬ発言で度々世間を驚かせるところも彼の魅力の一つだと思います。そんな彼の言動や行動に対して『異端』扱いや批判的な意見をぶつけられることもあります。精神的な強さや媚びることなく自分の信念を貫き通す姿勢や、また、自分が間違っていたと感じれば素直に非を認め、謝罪する潔さには、むしろ『日本男児』を感じます。

今回の言葉は、サッカー選手として海外でプレーできるレベルの彼を考えると、もちろんそういう意味もありますが、どのリーグに所属したとしても“選手としての”成長はあるという意味に感じます。しかし、常にスケールの大きい考え方の彼の言葉です。選手としてや、所属チーム(リーグ)という意味だけではスケールが小さいように思います。そういう意味で、『人間として』という意味が込められている気がしてなりません。

何気ない日常の様々な場面にも自分が成長するチャンスはいくつも隠されています。そのチャンスをどれだけ拾うことができたかによって、成長できる幅は変わってくると思います。手っ取り早く一度の取り組みで大きく成長できればいいのかもしれませんが、小さな成功体験や成長を実感できる瞬間を積み上げていくことでも、気がついた時には随分多くの経験値が増えているはずですから、大きく成長した自分を感じることができるのではないのでしょうか。

これまで述べてきたことは、みなさんの頭の中でも既に理解されていることだと思いますが、本当にそれで自身の成長をわかりやすく『実感』できるかと言えば、誰もが認め、称賛してくれるレベルの大きな成果を出さない限り、なかなか難しいかもしれません。『自己満足＝甘い』と考えてしまいがちですが、小さなことでも幸せを感じられたり、自分を認めてあげられる精神状態を保つことが最初の一步のような気がします。なぜなら、ポジティブな気持ちが挑戦する勇気を生み出しますし、挑戦しない限り成長はないのですから。(編集委員：入試広報室 鈴木)

本田 圭佑(ほんだ けいすけ、1986年(昭和61年)6月13日 -)は、大阪府摂津市出身のプロサッカー選手。サッカー指導者。日本の実業家。サッカークラブ経営者。ポタフオゴFR所属。ポジションはFW・MF。日本代表。(ナショナルチャレンジャー)。カンボジア代表 GM・監督。オランダ・ロシア・イタリア・メキシコ・オーストラリア・ブラジルと言った様々な国のクラブに所属。イタリアでは名門 AC ミランに所属し、背番号 10 を背負った。(Wikipedia 参照)